

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	研究ゼミナールB（Seminar of Study B）		
ナンバリングコード	L31205	大分類 / 難易度 科目分野	建築学科 専門科目 / 応用レベル 研究・資格・インターンシップ
単位数	2	配当学年 / 開講期	3 年 / 後期
必修・選択区分	選択 ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	L120552	クラス名	島岡研究室
担当教員名	島岡 成治		
履修上の注意、 履修条件	自主的な学習に意欲的に取り組むことが大切です。また、何を自分の職務とするか、自身の人生の目標を見定めながら研究室を選択し、それぞれの課題に取り組んでください。		
教科書	特にありません。		
参考文献及び指定図書	適宜指示します。		
関連科目	専門分野に関連する全科目		

○基本情報		
授業の目的	研究ゼミナールBでは、自分のもっとも興味のある建築分野におけるテーマを設定し、指導教員のもとで、卒業研究につながる基礎的な学習や卒業研究を作成するために必要な技術を習得します。 本研究室では、日本や西洋の建築作品の分析、まちの歴史的成り立ちや現代の課題などについてテーマを設定し、自分で授業時間外に調査研究した結果を授業中にプレゼンテーションします。それは、教員や他の学生と対話しながら研究テーマについてより深く学ぶこととなります。そのようにして、それぞれの専門分野に対する理解をより深くすることが目的です。	
授業の概要	卒業研究につながる調査や見学、文献やビデオ教材、CADソフト等による専門分野の学習や作品制作、そのための様々な準備など行います。各自がそれぞれのテーマを設定しますが、各自の出身地における建築やまちの歴史や文化を取り上げることが勧められています。他の学生や上級生である卒業研究生や大学院生らと協力して研究活動を行うこともあります。	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「演習等形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」
	(3) アクティブ・ラーニング	「プレゼンテーション」
地域志向科目	カテゴリー Ⅲ：地域における課題解決に必要な知識を修得する科目	
実務経験のある教員による授業科目	該当しない。	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	①建築・インテリアに関し興味を抱いているテーマの研究に主体的に取り組むことができる。			15点
【知識・理解】	②取り組んだテーマに関する基本知識を身につけ、さらに専門的な知識や考え方を深めていくことができる。		25点	
【技能・表現・コミュニケーション】	③調査研究した内容を適切にプレゼンテーションする能力を身につける。 ④プレゼンテーションされた内容を理解し、自分の意見を言うことができる。		25点	10点
【思考・判断・創造】	⑤取り組んだテーマにおいて明らかになる諸問題に対し自分の考えをもつことができる。		25点	

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)
設定したテーマについての発表を行ってもらいますが、プレゼンテーションの仕方も含め、その内容が評価の対象となります。発表は各自5回ほど予定していますので、その都度講評と課題とを指摘します。その全体の発表を通じた評価については、単位を修得するために達成すべき到達目標に対し、以下の達成水準を目安とします。 S:よく満たしている。 A:ほぼ満たしている。 B:一応満たしている。 C:一部分満たしている。 また、毎回討論会形式で行いますが、他の学生の発表に対し積極的に参加する姿勢も重要です。その時の積極的な発言、優れた内容の発言は記録して加点することがあります。

○その他

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名 担当教員	研究ゼミナールB (Seminar of Study B) 島岡 成治	授業コード	L120552
学修内容				
1. テーマ設定 個人またはグループで取り組むべきテーマを設定します。また、次回以降のプレゼンテーションの順番を決めます。				
予習	研究ゼミナールAの成果を踏まえて、建築について各自の最も興味のあるテーマの設定と発表準備。			約2時間
復習	討論した内容を参考にに取り組む研究テーマを設定し、考察するための資料リスト作成と実体験を含む資料収			約2時間
2. プレゼンテーションと討論会 プレゼンテーションおよび討論会を行います。その結果、テーマの内容を進化させ、次回のプレゼンテーションまでに取り組むべき課題を設定します。				
予習	資料リスト及び収集した資料について理解・分析し、発見・感じたことをまとめ、発表準備。			約2時間
復習	発表・他者の発表において議論・指摘された内容から、研究テーマの軌道修正、資料収集と分析方法の見直			約2時間
3. プレゼンテーションと討論会 プレゼンテーションおよび討論会を行います。その結果、テーマの内容を進化させ、次回のプレゼンテーションまでに取り組むべき課題を設定します。				
予習	必要に応じて実体験を含めた新たな資料収集をし、その理解・分析をやり直し、発表準備。			約2時間
復習	発表・他者の発表において議論・指摘された内容から、研究テーマについての資料収集と分析方法の見直し。			約2時間
4. プレゼンテーションと討論会 プレゼンテーションおよび討論会を行います。その結果、テーマの内容を進化させ、次回のプレゼンテーションまでに取り組むべき課題を設定します。				
予習	必要に応じて実体験を含めた新たな資料収集をし、その理解・分析をやり直し、発表準備。			約2時間
復習	発表・他者の発表において議論・指摘された内容から、研究テーマについての資料収集と分析方法の見直し。			約2時間
5. プレゼンテーションと討論会 プレゼンテーションおよび討論会を行います。その結果、テーマの内容を進化させ、次回のプレゼンテーションまでに取り組むべき課題を設定します。				
予習	必要に応じて実体験を含めた新たな資料収集をし、その理解・分析をやり直し、発表準備。			約2時間
復習	発表・他者の発表において議論・指摘された内容から、研究テーマについての資料収集と分析方法の見直し。			約2時間
6. プレゼンテーションと討論会 プレゼンテーションおよび討論会を行います。その結果、テーマの内容を進化させ、次回のプレゼンテーションまでに取り組むべき課題を設定します。				
予習	必要に応じて実体験を含めた新たな資料収集をし、その理解・分析をやり直し、発表準備。			約2時間
復習	発表・他者の発表において議論・指摘された内容から、研究テーマについての資料収集と分析方法の見直し。			約2時間
7. プレゼンテーションと討論会 プレゼンテーションおよび討論会を行います。その結果、テーマの内容を進化させ、次回のプレゼンテーションまでに取り組むべき課題を設定します。				
予習	必要に応じて実体験を含めた新たな資料収集をし、その理解・分析をやり直し、発表準備。			約2時間
復習	発表・他者の発表において議論・指摘された内容から、研究テーマについての資料収集と分析方法の見直し。			約2時間
8. プレゼンテーションと討論会 プレゼンテーションおよび討論会を行います。その結果、テーマの内容を進化させ、次回のプレゼンテーションまでに取り組むべき課題を設定します。				
予習	これまでの発表成果について、各自振り返り、その意義及び問題点などについて発表準備。			約2時間
復習	発表・他者の発表において議論・指摘された内容から、研究テーマの再設定と資料収集と分析方法の見直し。			約2時間

○授業計画	科目名 担当教員	研究ゼミナールB (Seminar of Study B) 島岡 成治	授業コード L120552
学修内容			
9. プレゼンテーションと討論会			
プレゼンテーションおよび討論会を行います。その結果、テーマの内容を進化させ、次のプレゼンテーションまでに取り組むべき課題を設定します。			
予習	再設定されたテーマに応じて、実体験を含めた新たな資料収集をし、その理解・分析をやり直し、発表準備。	約2時間	
復習	発表・他者の発表において議論・指摘された内容から、研究テーマについての資料収集と分析方法の見直し。	約2時間	
10. プレゼンテーションと討論会			
プレゼンテーションおよび討論会を行います。その結果、テーマの内容を進化させ、次のプレゼンテーションまでに取り組むべき課題を設定します。			
予習	必要に応じて実体験を含めた新たな資料収集をし、その理解・分析をやり直し、発表準備。	約2時間	
復習	発表・他者の発表において議論・指摘された内容から、研究テーマについての資料収集と分析方法の見直し。	約2時間	
11. プレゼンテーションと討論会			
プレゼンテーションおよび討論会を行います。その結果、テーマの内容を進化させ、次のプレゼンテーションまでに取り組むべき課題を設定します。			
予習	必要に応じて実体験を含めた新たな資料収集をし、その理解・分析をやり直し、発表準備。	約2時間	
復習	発表・他者の発表において議論・指摘された内容から、研究テーマについての資料収集と分析方法の見直し。	約2時間	
12. プレゼンテーションと討論会			
プレゼンテーションおよび討論会を行います。その結果、テーマの内容を進化させ、次のプレゼンテーションまでに取り組むべき課題を設定します。			
予習	必要に応じて実体験を含めた新たな資料収集をし、その理解・分析をやり直し、発表準備。	約2時間	
復習	発表・他者の発表において議論・指摘された内容から、研究テーマについての資料収集と分析方法の見直し。	約2時間	
13. プレゼンテーションと討論会			
プレゼンテーションおよび討論会を行います。その結果、テーマの内容を進化させ、次のプレゼンテーションまでに取り組むべき課題を設定します。			
予習	必要に応じて実体験を含めた新たな資料収集をし、その理解・分析をやり直し、発表準備。	約2時間	
復習	発表・他者の発表において議論・指摘された内容から、研究テーマについての資料収集と分析方法の見直し。	約2時間	
14. プレゼンテーションと討論会			
プレゼンテーションおよび討論会を行います。その結果、テーマの内容を進化させ、次のプレゼンテーションまでに取り組むべき課題を設定します。			
予習	必要に応じて実体験を含めた新たな資料収集をし、その理解・分析をやり直し、発表準備。	約2時間	
復習	発表・他者の発表において議論・指摘された内容から、研究テーマについての資料収集と分析方法の見直し。	約2時間	
15. プレゼンテーションと討論会			
最終プレゼンテーションと討論会を行います。			
予習	これまでのすべての発表成果について、各自振り返り、その意義及び問題点などについて発表準備。	約2時間	
復習	発表・他者の発表において議論・指摘された内容から、各自における建築との関わり方について考える。	約2時間	
16. 期末試験			
試験は行いません。			
予習			
復習			